

JWFファンド2021 支援先 概要

I. Kanjuki村の既存井戸修繕(ウガンダ)

- 実施団体: Rural Initiative for Development and Empowerment (RIDEUGANDA) (#044)
- 実施地: ウガンダ Kayunga 県 Kanjuki村
- プロジェクト予算: 2,231ドル (JWFファンド1,500ドル、団体500ドル、受益者231ドル)
- 受益者数: 1,500人 (男性150人、女性300人、子ども1,050人)
- 実施地の水問題:

対象のKanjuki村のあるKayunga 県に住む恵まれない農村部の人びとは、COVID-19の感染拡大に加えて、安全な水と衛生へアクセスできていない。水は井戸の故障や機能不全、人口増加によって慢性的に不足し、深刻化している。ハンドポンプ付き井戸の不足は数年前から知られているものの、依然として問題となっている。きれいな水を得ることが出来ず、人々は遠く離れたため池に水を汲みに行っている。子どもたちの学校欠席や、水汲みの道中での誘拐、暴行被害につながっている。



壊れた井戸



住民が水を汲む水源

- 主な活動内容:
プロジェクト参加促進活動、ハンドポンプ付き井戸3基と周辺設備の修繕、水質検査、職人への修理研修等
- 特長(持続性):
衛生促進員へのトレーニング、維持管理委員会の設立と委員へのトレーニング、地方行政の技術面の協力
- 団体: 子どもへの教育の他、村落衛生等の活動に取り組む。2016年の設立からこれまで22基の井戸を修繕。

JWFファンド2021 完了報告 概要

I. Kanjuki村の既存井戸修繕 (ウガンダ)

実施中の様子



ハンドポンプ付き井戸の
基礎修繕



ハンドポンプ付き井戸の
完成

現場からの声 (抜粋)



Ssonko Masanyalazeさん
(男性、77歳、ポンプ利用者)

遠く離れた水源からの水くみは私たちのような
高齢者にはとても大変でした。日本からの寄付
にとても感謝しています。

実施後の様子



完成したハンドポンプ付き
井戸を囲む笑顔の子供達



スタッフによる啓発活動



Namuyiga Beatriceさん
(女性、46歳、地域リーダー)

私達の地域の水に関する大問題を解決してく
れたこのプロジェクトには大変感謝しています。